

「不許葷酒入山門」

この写真は、徳雲寺の山門に入る手前の池に渡してある石橋の側に遠慮がちに立っている石柱である。刻んである文字の内、「葷」について、植物学者牧野富太郎は、「不許葷酒入山門」という随筆の中で考察している。臭いニンニク、ネギの類らしい。「本草綱目」の一文を載せている

「生食スレバ 怒リヲ増シ、熟食スレバ 姪ヲ発シ、性靈ヲ損ズ故ニ之ヲ絶ツナリ」 岡山市にも菅茶山筆の同じ石柱があるという。多くのお寺の山門で見られる。

